

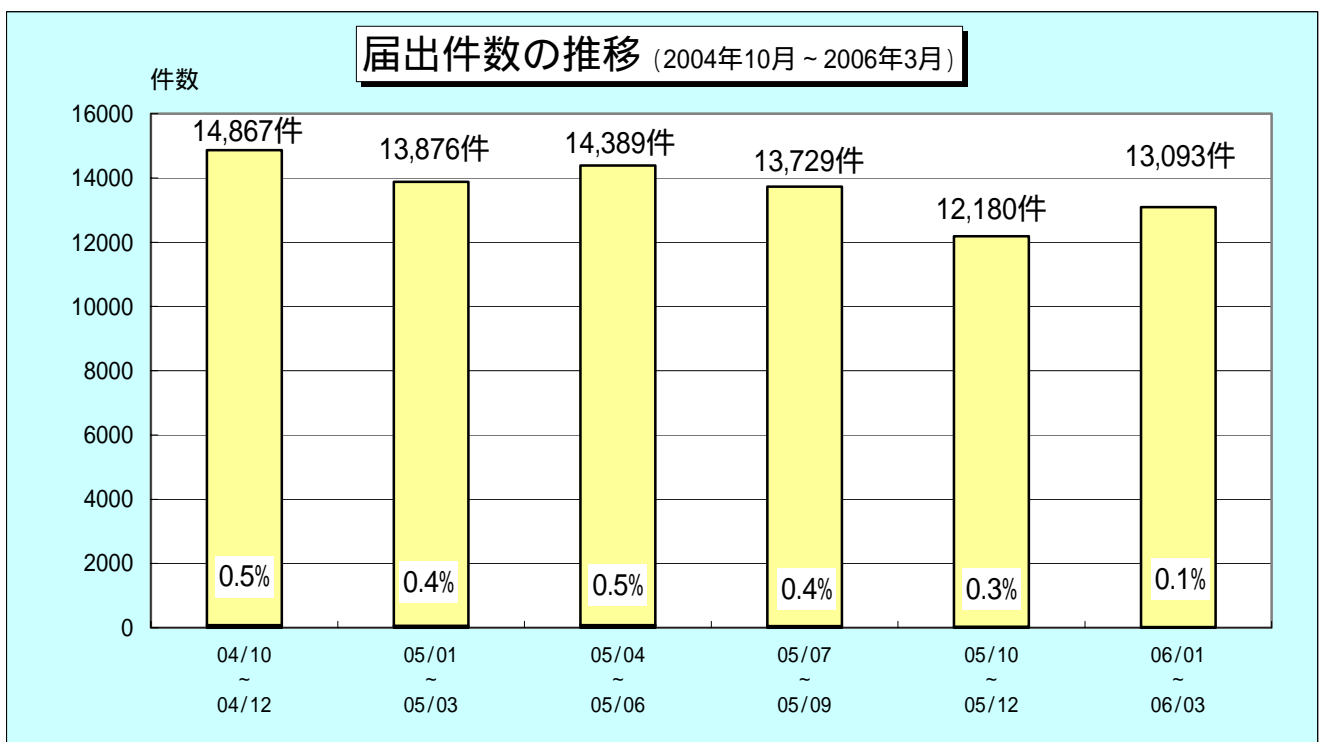
2006年第1四半期[1月～3月]コンピュータウイルス届出状況

独立行政法人 情報処理推進機構(略称:IPA 理事長:藤原 武平太)は、2006年第1四半期[1月～3月]のコンピュータウイルス届出状況を集計しました。

1. 届出件数

2006年第1四半期(1月～3月)の届出件数は合計13,093件となりました。下記グラフは、IPAが受け付けた四半期(3ヶ月)ごとの届出件数の推移を示したものです。

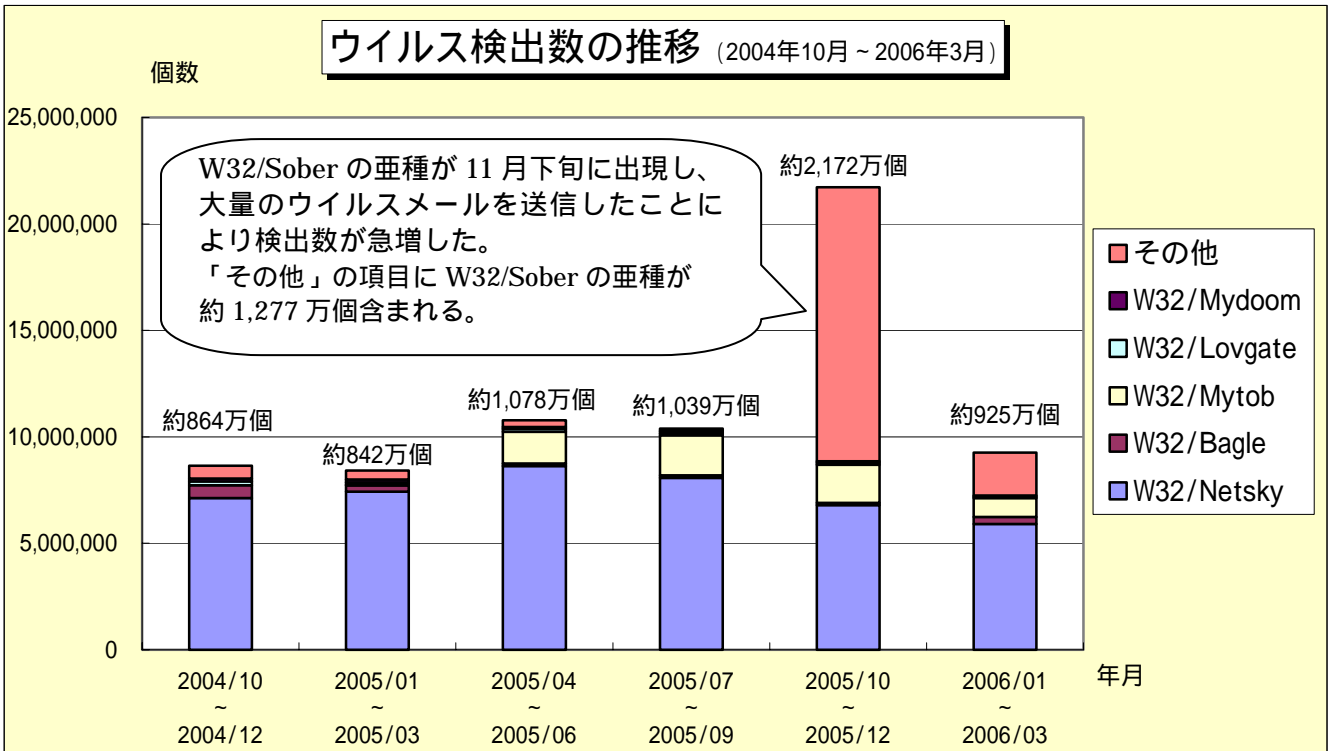
2004年第4四半期(10月～12月)以降、高水準での推移となっています。しかし、感染被害の割合は1%を下回る数値となっており、主にメールを悪用するウイルスが蔓延している状況ではありますが、メールサーバにおけるウイルスチェックなど、予防対策が浸透している現状が伺えます。



図中の%表示は感染被害に遭った割合。

2. ウイルス検出数

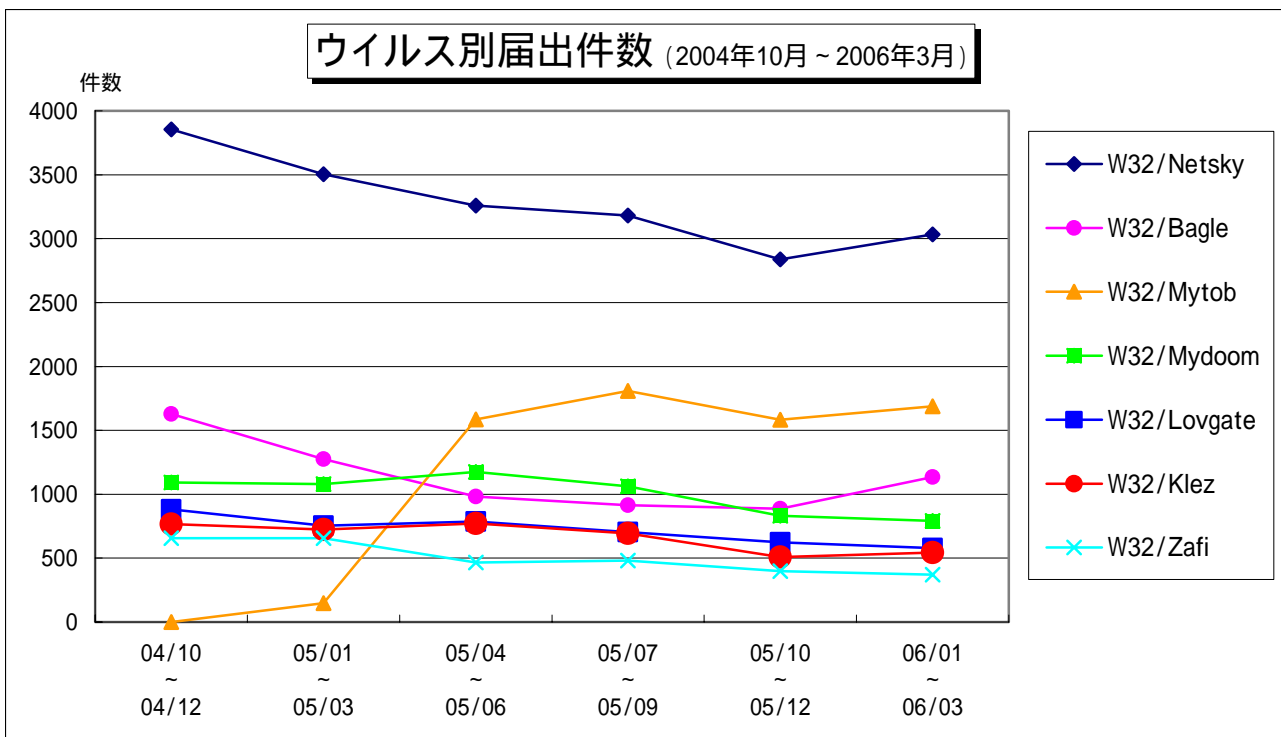
2005年第4四半期(10月～12月)にW32/Soberの亜種が大量のウイルスメールを送信したため、当該四半期は約2倍の検出数となっています。その亜種は、2006年1月に活動を停止するように設定されていたため、2006年第1四半期(1月～3月)の検出数は以前の水準となりました。



3. ウィルス別届出件数

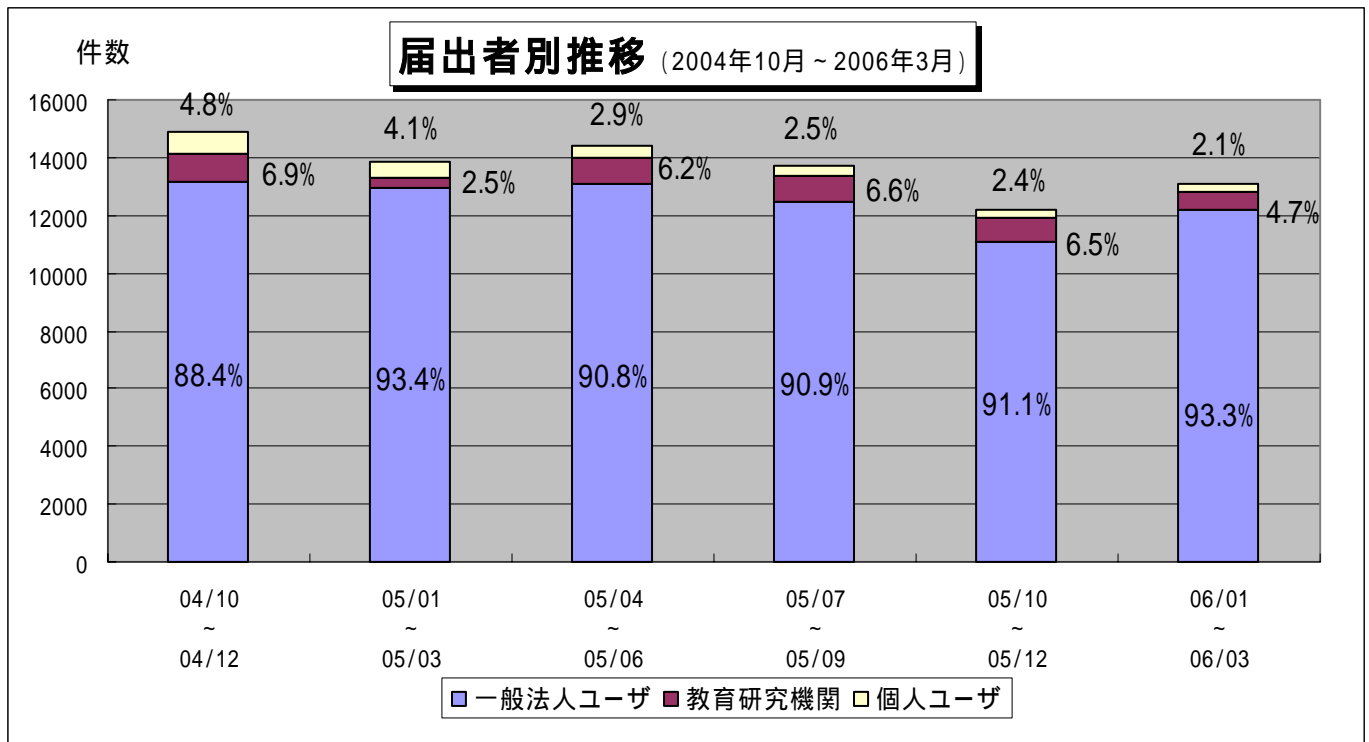
2004 年より届出が多数寄せられている W32/Netsky ウィルスも四半期ベースの件数を見ると、減少傾向となっていますが、他のウィルスに比べ、依然として高水準で推移しています。

なお、ウィルスが蔓延している状況は継続しています。ウィルスの新種や亜種が出現しても被害に遭わないよう、**修正プログラムの適用、ワクチンソフトの利用、添付ファイルの取り扱い**に注意するなどの基本的なウィルス対策を日頃から実施しておくことが肝要です。



4.届出者の分類

届出者別の内訳は下図のようになっており、一般法人ユーザからの届出が90%以上を占める状況で推移しています。



お問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター
花村 / 加賀谷 / 宮本

Tel: 03-5978-7527 Fax: 03-5978-7518 E-mail: isec-info@ipa.go.jp